

「『こんにちは県議会です』 大学生との意見交換会」開催概要

- 1 開催日時 令和2年2月21日（金）午後2時30分から午後5時20分
- 2 開催場所 議会棟 第1特別会議室
- 3 出席者
○県下大学、短期大学の1～3年の学生20名
＜参加学生＞
信州大学 3名、松本大学・松本大学松商短期大学部 6名、
清泉女学院大学 4名、長野保健医療大学 7名

○清沢 英男議長、荒井 武志副議長
○広報委員 丸山 大輔議員、寺沢 功希議員、加藤 康治議員、両角 友成議員
- 4 開催内容 議会傍聴、意見交換・懇談、意見・感想等の発表
- 5 意見交換会テーマ
＜Aグループ＞
台風災害を受けてのこれからの防災・復興
長野県の交通機関のあり方
＜Bグループ＞
若者や女性が地域で輝き、活動するためには（政治参加も含めて）
インターネットでの情報配信
＜Cグループ＞
高齢化が進む本県における健康・医療の課題
長野県の学校教育のあり方、教員の働き方
＜各グループ共通の意見交換テーマ＞
環境問題について
- 6 参加者 29名（議員6名、学生20名、傍聴者3名（大学関係者含））



○開会

(司会：荒井副議長)

定刻となりましたので、ただ今から「『こんにちは県議会です』地域住民等との意見交換会」を始めます。

私は、本日の進行を務めます、長野県議会副議長で広報委員会委員長の荒井武志でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○長野県議会議長あいさつ・県政報告

(荒井副議長)

それでは、長野県議会を代表いたしまして、清沢英男議長からあいさつ及び県政報告を申し上げます。

(清沢議長)

こんにちは。議長の清沢英男であります。

きょうは、「『こんにちは県議会です』大学生との意見交換会」にお集まりいただきまして、まことにありがとうございました。

実はことし初めて県議会では県内大学と包括連携協定を締結し、調印いたしました。

これは何かと言いますと、大学というのは知の集積の場所である、そして我々は地域の住民の皆さんの幸せのために何ができるかということを思っているところであります。学生さんは地域貢献にいつも地域の皆さんとお互いにやってくださっていると思いますが、そういうこととか、あるいは大学の先生方の知識を県議会でもぜひ生かしていけたらいいなということで始まった包括連携協定です。その一環で、きょうは皆さんからぜひいろいろなお話を聞かせていただいて、我々も県政をやる上で参考にさせていただければなという思いでお越しいただきました。

その前に、少し県政報告をさせていただきます。お手元の広報紙に少し書いてあると思いますが、最近、きちんとした名前に決まり、「令和元年東日本台風」になりましたいわゆる19号台風であります。このことで長野県は千曲川沿線の皆さんが大変被害をお受けになられました。それをどうやって復旧復興させていくんだということで、一生懸命、今議場でお聞きをいただいたとおりのことを話しているわけであります。最後は、加藤康治議員の話の中に出てきたと思いますが、いろいろな人がいろいろな関係からどうやって復旧をしていくんだという話をしているわけであります。

県議会というのは、この県庁の中にあるので、みんな一緒に、同じにやっているのかなというふうにも思うかもしれませんが、実は県議会というのは、知事の抱えているいろいろな仕事がありますが、私が今議場で何とか部長、何とか部長と呼び上げましたよね。ああいう人たちは県庁の職員さんとして仕事をする人たちであります。国で言えば内閣に当たります。もう一つ、私たち議員は、それとは違って、

その仕事をきちんとやっているのかい、予算はしっかり使えているのかい、そういう話をする議会というものがあります。これは国とは違います。国は、議員内閣制をとっており、内閣総理大臣は皆さんに選ばれた国会議員の中からなります。一方、地方の議会はそういうことではなくて、県も市町村もそうでありまして、首長は、議会の皆さんと同じように選挙で選ばれるので、二元代表制という言葉を使ってやっています。そういう意味で、私どもは、県庁の職員の皆さんが皆さんとお話をするということとは少し違いますので、きょうはそんなこともお含みいただいて、お聞きをいただけたらと思います。

災害の話ですけれども、県庁の職員さんは一生懸命いろいろな知恵を絞って、こうやってやったらいいということをやっていますけれども、議会としても災害連絡対策本部をつくり、被災地をよく見て回りまして、こういうところはまだ手が届いていないんじゃないかとか、もう少しここに予算を使ってほしいということを議会としてやっているところであります。

おかげさまで、皆さんの中にも多分ボランティア活動をご苦労いただいた人もいらっしゃるかもしれませんが、約8万人の皆さんにお手伝いをしていただきましたが、そういうことで被災地も復旧復興が進んでいるわけでありまして。

それから、最近、台風にしてもそうですけれども、毎年のようにすごい自然災害が日本列島を襲うのではないですか。それは日本だけではなくて、今世界を見てみるとオーストラリアも火事がちっとも消えないとか、これはひょっとしたら、地球温暖化、地球が少し変わってきているのではないかというのを私どもは本当に肌で感じているわけでありまして。

例えばことしは雪がないではないですか。この前話をしたことがありますが、2月14日はバレンタインですけれども、6年前に佐久のほうで大豪雪があったことを覚えていますか。自衛隊が出て、国道18号線に埋まったトラックなんかを何とか動かすという豪雪がありましたけれども、ことしは雪が降らない。こんな年が皆さんが小さいころから今までにありましたでしょうか。そういうこと一つとっても、何か気候が変だな、地球が変だなということを思わざるを得ないわけでありまして。

長野県議会は、この前の11月の定例議会のときに県が「気候非常事態宣言」を出して、県民の皆さんにきちんと注意をしていただくとともに、この地球について、今生きる私たちが何ができるかということを考えていこうということと呼びかけ、「気候非常事態宣言」を、知事が議会の呼びかけで出しました。

それを一言でいいますと、2050年には二酸化炭素をゼロにしようという大胆な計画であります。ゼロカーボンと言っていますけれども、そういうふうな時代にして、地球を守っていこうという思いがあるわけでありまして。きょうはそういうことも一つの話題になるかもしれませんが、30年後といえば、皆さんが中心的な世の中の人として活躍する時代のことでありますので、ともに一緒に考えていただければと思います。

それから、今私の胸にきれいなバッジがついていますけれども、これはSDGsと書いて、国連で始まった、持続可能な開発目標と訳されますけれども、いろいろな意味で地球に対して、私たちの生活に

対して、持続可能とは何なのか、どういうことをやっていかなければいけないのかということ改めて考えてみることも、先ほど申し上げた気候変動の関係の話と一緒に大切なことだろうと思います。

もう一つは、きょう、あした、あさっての生活をどうしていかなければいけないということも大事な話だと思います。ですから、皆さんが長野県政に対して、あるいは市とか、そういうことに対してでもいいですが、どういうことを変えてほしい、やってほしいということもあれば、きょう一緒にお聞かせいただければと思います。

長くなりましたが、きょうは大学生の皆さんから私たちが思いもよらないことをぜひ聞かせていただければありがたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

きょうはありがとうございます。

○出席議員自己紹介

(荒井副議長)

それでは、本日出席の県議会議員を御紹介します。

県議会広報委員会副委員長として、丸山大輔議員、広報委員として、寺沢功希議員、加藤康治議員、両角友成議員。

以上でございます。

○意見交換・懇談

(荒井副議長)

では、意見交換の進行方法について御説明します。

現在、学生の皆さんと議員にはAからCの各グループに分かれてお座りいただいているところですが、グループごとに、学生の皆さんから提案のあったテーマをもとに、それぞれ2つのテーマを中心に1時間程度、自由に意見交換をしていただきます。

なお、必ずしも結論を出す必要はありません。

また、意見交換の終了10分前を目安に事務局からアナウンスしてもらいますが、現在議会で制定を検討している「環境政策推進条例（仮称）」に関連し、「環境問題」について学生の皆さんからご意見等をいただく時間も作らせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上を踏まえまして、17時5分頃から、各グループで出た意見等について学生の代表者から発表していただくとともに、同グループの議員からも、一言感想を述べていただきたいと思います。

なお、発表時間につきましては、学生・議員合わせて5分以内でお願い致します。

意見交換の進行についての説明は以上です。

なお、本日の「こんにちは県議会です」の概要を後日、議会のホームページに掲載いたしますのであ

らかじめご承知願います。

また、報道の皆様をお願いいたします。記事にする場合等は、質問される学生さんの許可を得るなど、個人情報の保護には十分御配慮をいただきますようお願いいたします。

傍聴される方にもお願いがあります。「意見交換会」の傍聴については会場内を自由に移動していただいて結構ですが、開始後5分程度、各グループが自己紹介を終了する頃までは、着席のままお待ちいただくよう、お願いいたします。

それでは、よろしく願います。

(意見交換・懇談)

(事務局)

意見交換終了まで残り時間10分となりました。

ここで、「環境政策推進条例(仮称)」に関連し、環境問題について、学生の皆さんが日頃抱えていることや関心事について意見交換を行っていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

○意見・感想等の発表

(事務局)

時間になりましたので、意見交換を終了してください。

(荒井副議長)

それでは、時間になりましたので、意見交換を終了してください。

まだまだお話をしたいことがたくさんあると思いますけれども、各グループで話し合った内容について発表していただきたいと思います。

それぞれのグループごとに、5分程度で、発表される方と議員の感想を、一言ずつになろうかと思いますが、願います。

それでは、Aグループから、発表担当の学生さん、願います。

(Aグループ発表担当)

Aグループでは、台風災害を受けて、これからの防災・復興についてということをも話し合っており、その中で、私たちが学生なので、学生ができるボランティアを考えてほしいという意見が出ました。

あと長野県の交通機関のあり方については、両替をしなくてもいいようにとか、もっと電車、バスを利用しやすいようにICカードの設置をお願いしました。

環境問題については、エコバッグを持ち歩いてもらえるように、プラスチック袋の有料化と、有料化

をするにしてももっと料金を上げていいのではないかと思います。

以上です。

(荒井副議長)

ありがとうございます。

それでは、次に議員の感想になるわけですが、清沢議長につきましては後ほど議長所感でお願いします。

寺沢議員、それでは一言お願いします。

(寺沢議員)

Aグループでは、今発表していただいたとおりでございます。結構学生の皆さんがボランティアに参加していて、自分たちの実感としてどうだったかということを発表してくれました。ぜひ有事の際、なかなかうまくいかない部分は多々あると思いますけれども、きょうお聞きをした意見を参考にして、もし仮に次起きたときにはスムーズな復興復旧に携われるように参考にしたいと思います。

それから、公共交通機関についても、今使っている現役の皆さんですので、さまざまな不具合、不都合なことを出していただきました。本当にICカードをぜひ導入してほしいというのが大半の意見でしたので、できる限りの活動をしていければなと思っています。

最後の環境問題については、皆さん学生さんながら意識を高く持っていてくれました。あしたからレジ袋は一切もらわない、マイボトルを持ち歩く、ストローと箸も持ち歩くということを約束してくれましたので、一歩進んだのではないかと思います。

(荒井副議長)

ありがとうございました。

それでは、Bグループの発表担当の学生さん、お願いします。

(Bグループ発表担当)

Bグループでは、若者や女性が地域で輝き、活動するためにはという、政治参加も含めた話とインターネットでの情報発信、環境問題についての3つについて主に話し合いました。

まず、若者や女性が地域で輝き、活動するためにはということですが、女性が働きやすい環境とか、戻れる環境が整った状態で女性がキャリアアップを目指していく状況が望ましいのではないかという話になりました。また、女性の子育ての負担が大きかったりとか、そういう面に対して、こども食堂とか、お母さんたちの不安を解消できる場を設けることがとても大切なのではないかという話になりました。

また、若者の政治参加についてですが、若者の投票率は非常に低くて、その理由としては政治に対して余りよいイメージを持っていないということが少し上げられました。そういう学生に対してのアプロ

一丁は非常に難しいですが、自分たちの1票の重さを感じながら、投票に参加したいという話になりました。

インターネットでの情報発信については、余り触れられなかったのですが、インターネット投票の導入によって、もっといろいろな人たちが投票に行くのではないかという話になりました。

最後に、環境問題についてですが、CO₂の排出が問題になっていて、それに対しては自転車の利用を促進したり、公共交通の利用をもっと促進することで問題の解決につながるのではないかという話と、買い物袋、レジ袋の有料化をもっと強く推進することで、マイバッグを持ち歩く人をふやすことが大事なのではという話になりました。

以上です。

(荒井副議長)

ありがとうございます。

それでは、両角議員、一言お願いします。

(両角議員)

今報告があったとおりなので、特に言うことはないなと思うのですが、一つだけ、うちのグループには、将来議員になりたいという人がいました。なかなかこういう席でそういうことまで言ってくれる人は少ないのですが、きょうはそういう点でよかったと感じました。

それと1票の格差とか、学生さん、若い人が投票に行かないみたいな話で、一つだけ、私が市会議員の選挙に出たときに、票数が同数で、何とくじ引きで議員になったという話をさせていただいて、1票の格差という、本当に1票1票が大切だということを身にしみて感じたというお話をさせていただきました。

以上です。

(荒井副議長)

ありがとうございます。

それでは、Cグループの発表担当の学生さん、お願いいたします。

(Cグループ発表担当)

まず、高齢化が進む本県における健康・医療の課題においては、一番多かったのは移動手段のことで、山間地帯や過疎地域での高齢者の医療機関の移動手段がすごく少ないというのが意見として一番多かったです。

長野県は健康寿命と平均寿命も高いですけども、平均寿命が高い割に、健康寿命がさほどまだ高くないというのも聞いて、それを縮めるためにどうしていくかということが課題だと思いました。

長野県の学校教育のあり方、教員の働き方については、一番は教員の人員不足による、働く量がとても多いから働き方を変えたほうがいいという意見が多くて、それで特に小学校の先生の仕事量が多くて、全教科を教えたり、特に事務の仕事も教えたりということで、小学校の先生は特に大変ということを知りました。

環境問題については、CO₂削減のために電気自動車を推進していこうという話になったんですけども、それでも火力発電なので結局CO₂は削減できないのではないかとということで、水力発電とかはどうかということや、あと太陽光は今長野県はよく使っているということを知っていて、でも山間地域だと山に囲まれていて光が余り当たらずに、効率が悪いんじゃないかということだったり、あとごみの分別で、ある地域ではプラごみと紙ごみをしっかり分けているのに、ある地域では分けてないから、分別をもっとしっかりやったほうがいいんじゃないかという意見が出ました。

以上です。

(荒井副議長)

ありがとうございます。

それでは、Cグループの議員さん、お2人おいでですので、丸山議員、加藤議員、続いて一言ずつお願いします。

(丸山議員)

やっと場が暖まってきたところでとめられて、残念だったなと思います。

我々のグループの最大の結論は、塩分を取り過ぎないようにするためにお寿司屋さんに霧吹きを全部置こう。これは加藤議員が責任を持って、全県を回ってお寿司屋さんを制覇してくれるということになりました。

クオリティ・オブ・ライフが大事だという話が非常に響きました。

また、学校の現場は働き方改革を早急にやらないと、もう先生になり手はないぞという危機感を与えてもらうことができましたので、みんなで頑張っていきましょう。

(荒井副議長)

ありがとうございます。

続いて、加藤議員。

(加藤議員)

2人から発言していただいて、特にないんですけども、医療の関係では、訪問診療をしっかりと広めていったほうがいいんじゃないか、そのための環境整備をしっかりとやっていったほうがいいんじゃないかというお話がありました。

あと学校教育の関係では、今あるように社会全体で支えていく仕組みが大事なのではないかという話もありましたし、環境問題は木の老朽化が著しいのではないかということで、木を植えかえることによって、CO₂を吸収し、ゼロカーボンにつながっていくんじゃないかという意見がありました。

以上です。ありがとうございます。

(荒井副議長)

ありがとうございました。

時間も大分経過しておりますが、学生さんのほうで、これは絶対言っておかなければいけないという思いがある方、一人、二人受けたいと思いますので、どなたかありますか。いいですか。

それでは、本当に短い時間だったという声が多かったんですけども、熱心に議論いただきましてありがとうございました。

○議長所感

(荒井副議長)

それでは、まとめに、清沢県議会議長から、今回の意見交換会を踏まえましての感想とお礼の挨拶を申し上げます。

(清沢議長)

どうも皆さん、ありがとうございました。

私のところも含めて、それぞれに話し合いが行われたようであります。Aグループは女性が多くて、男性は1人だけで孤軍奮闘しました。

ご案内のように、環境問題ですぐ思い出すのは、グreta・トゥーンベリさんです。いろいろな評価はあると思うけれども、あの人のすごいところは、自分たちの生きる時代をつくらうとしていることだと私は思っています。ヨーロッパには、フィンランドの首相は34歳の女性、19人の閣僚のうち12人が女性という国もあるわけですから、きょうも議会の中で、男女共同参画という話を皆さんがいるときに発言した人がいたと思うんだけど、女性が男性の聞き役でなくて、男性を聞き役に回す時代になるかもしれないですね。私は女だからとかそういうふうに思わずにしゃべっていくことがとても大事なことになると思います。

きょうは、いろいろ政治については考えたこともなかったかもしれませんが、一つ言えることは、皆さんも全て有権者なのであります。一票を行使する権利ですけれども、義務でもあると私は思うので、世の中のことをこれから考えていただいて、ぜひきょう話し合いをしたぐらいの真剣さを持って毎日を過ごしていただいたらありがたいと思います。

きょうは本当にありがとうございました。

(荒井副議長)

清沢議長、ありがとうございました。

○閉会

(荒井副議長)

本日皆さんからいただいたご意見は、広報委員を通じて全議員にお伝えし、今後の議員活動の参考にするとともに、本会議の質問や、会派の要望に反映させていきたいと思っております。

以上をもちまして、「『こんにちは県議会です』大学生との意見交換会」を終了いたします。

学生の皆さん、そして、会場の皆様方におかれましては、長時間にわたり熱心にご参加をいただき、誠にありがとうございました。